

# 新幹線プレス

2020年11月6日

No.494

発行者 杉澤秀則

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

## SMTがコロナ感染対策実施！！

## 遺失担当勤務の①番、⑦番が自宅待機に

東京トラベルサポート事業所で、社員が新型コロナウイルスに感染したため、さらなる感染拡大を危惧して急遽の自宅待機を命じられた社員が多数おり、これに伴い多くの社員の勤務変更が発生しました。

JR東海労新幹線地本は、この事態を受けて執務室の三密防止対策や基礎疾患を抱えている社員への配慮等を要求して新幹線メンテナンス東海(株)に団体交渉の開催を求めています。

SMTは、11月1日から遺失物勤務の①番と⑦番を担当する社員を自宅待機とさせました。

JR東海労新幹線地本が要求している一部の対策が実現しました。

## 早急に団体交渉を開催し議論せよ！！

新型コロナウイルス感染の終息が見えない中、職場では多くの問題が発生しています。SMTは団体交渉を早期に開催し、この間の経緯や今後の感染対策等を労使間で議論すべきです。